

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	地方都市小委員会	主 査 名：北原啓司 就任年月：2003年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海邦碩 主 査 名：
設 置 期 間	2005年 4月 ～ 2007年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	地方都市において、一種のブームとして登場している「街なか居住」について、この現象によって引き起こされる郊外住宅地の空洞化にも言及しながら、東北地方における「街なか居住」の必要性と可能性について各自の研究成果を蓄積しながら、明らかにしていく。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 北原啓司(弘前大)、瀬戸口剛(北大)、今野亨(ドーコン)、中出文平・樋口秀(長岡技大)、野嶋慎二(福井大)、小林敏樹(芝浦工大)、浅野純一郎(長野高専)、浅野聡(三重大)、木谷弘司(金沢市)、佐瀬守昭(福島県)、福原由美(神戸大)、鷗心治(山口大)、出口敦(九大)	
設置 WG (WG名：目的)	無し	
2005 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレ:urban.nagaokaut.ac.jp/~plan/local/local.html

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し	
講習会	無し	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し	
大会研究集会	1. (名称) 街なか居住を科学する (資料名) 「街なか居住を科学する!？」	参加者数100名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無し	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 大会で開催したパネルディスカッションの成功 2. 出版に向けた活動がスタート・・・出版社がほぼ内定 3. 郊外居住に関する研究が予定よりやや遅れ気味	
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地方都市在住の研究者が多く、委員会を開催することが経費的に困難	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。